

11月予選会に向け始動

小中学生がロボット作り

御坊市の市立体育館で12月14日、「きのくにロボットフェスティバル2014 全日本小中学生ロボット選手権」(実行委員会主催)が開かれる。小学生と中学生の各部があり、県内の予選会通過者が、全国各地からの出場者とともに競技をする。

小学生の部は六足歩行ロボットを組み立て、遭難者に見立てた紙コップを救出する競技「救出大作戦」をする。中学生の部はそれぞれ工夫してロボットを組み立て、相手コートにある籠にバドミントンのシャトルを入れる競技「フライングゲット」をする。

県内では六つのブロックに分かれて、ロボット組み立て講習会と予選会がある。田辺市や周辺町のブロック予選会には小学生の部18人、中学生の部4チーム9人が出場を予定している。



▽ 小中学生が参加したロボットの組み立て講習会
(田辺市あけぼの)

24日には、予選会に先立ち田辺市あけぼのの田辺工業高校で講習会があり、参加者は同校の教員や生徒に教わりながら、ロボットのキットを組み立てた。それぞれ持ち帰って手を加え、11月の予選会に臨む。

選手権には、各ブロックの予選上位チームが出場。小学生の部、中学生の部でそれぞれ計16チームとなっている。